

朝日研究室（都市・環境経済学）

教員：朝日ちさと

研究室：2号館107号室 / Tel&Fax 042-677-3144 / E-mail : asahi#tmu.ac.jp

研究室概要

- **政策の効果に関する経済学的分析**を行います。**持続可能な地域や環境**を実現するためには、環境や安全（リスク）など可視化しにくいものも含む公共政策の効果を**根拠に基づき分析・評価**し、意思決定に反映させることが重要です（**Evidence-Based Policy Making: EBPM**）。

■ 学術分野

➤ 応用ミクロ経済学

- ◇ **厚生経済学**：人々の well-being を経済学的に分析・評価する。費用便益分析（Cost-Benefit Analysis: CBA）、社会資本・規制インパクトの経済評価
- ◇ **都市経済学・環境経済学**：都市・環境を経済学で分析する。環境・リスクの便益評価、都市・地域における社会資本・自然資本・人的資本・知識資本
- ◇ **メカニズムデザイン**：複数の目的を効率的に達成するルール（制度・組織）を分析する。環境リスクマネジメント、官公民連携（PPP）

➤ 評価研究（Evaluation Research）

- ◇ 政策評価・行政評価の理論的基礎となる**プログラム評価・業績測定**
- ◇ 多元的な評価主体・評価基準を扱う**多基準分析（Multi-Criteria Decision Aid: MCDA）**等の手法

■ 研究方法

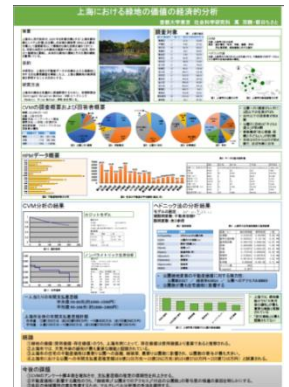
- **理論に基づく実証分析**、そのデータを裏付けるフィールド調査も重視します（2021 ゼミ合宿：福岡）
- 政策効果の分析では計量経済学・インパクト評価・EBPMの手法に基づき、**因果関係・with-without（介入-非介入）**を明確にします。人々の選択行動に関するデータの実証分析については、行動経済学・実験経済学の知見等も活用します。

■ 卒業論文・修士論文のテーマ（抜粋）

- 木造住宅密集地域におけるポケットパークの評価と整備・活用の方向性
- コンパクトなまちづくりを推進するうえでの都市の誘導区域設定に関する検証—青森市の事例を中心に—
- 地域新電力を用いた地域活性化の現状と課題



- 指定管理者制度による総合公園の管理運営・評価～ふなばしアンデルセン公園を事例として～
- 公益性指標を用いた第三セクターの収益性向上に関する要因分析
- 鉄道事業における開業前予測と開業後の実測値の乖離の分析
- 成人の運動行動の分析と運動促進策
- 空間的応用一般均衡分析を用いた東京外かく環状道路の帰着便益評価
- ヘドニック・アプローチによるオリンピック関連社会資本整備の効果に関する分析
- 世界遺産の経済波及効果とその活用策
- 中国の都市類型「大都市」における BRT 導入に関する研究
- 上海市における緑地価値の経済的分析
- 探索的テキスト分析による環境アセスメント審議会議事録の主体と基準に関する考察



研究活動

■ 専門分野

環境経済学, 都市・地域経済学, 政策評価, 費用便益分析, 社会資本整備の評価

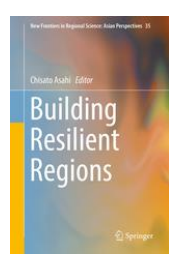
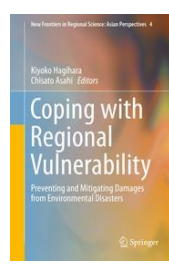
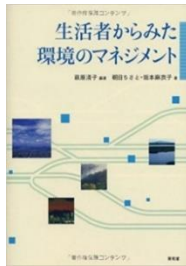
■ 主な研究テーマ

- 公共施設マネジメントにおける施設の経済評価手法に関する研究（戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築」研究開発プロジェクト・構築グループ・財務部会の成果を基礎として）
- スタートアップ企業集積と事業多角化を促す地域及び政策的要因に関する分析（フォースタートアップ社他との共同研究）
- 豊かな暮らしやすい地域づくりに関する基礎的な調査及び研究（国土交通政策研究所客員研究官）
- 地域の公共サービスを持続可能とする包括的供給スキームの制度設計（中央大学経済研究所 空間システム研究会メンバー）
- 自然観光地の持続可能な利用に関する研究（日本交通政策研究会プロジェクトメンバー）
- インフラの費用便益評価と多基準分析の統合的評価手法に関する研究
- 地域の持続可能性のためのインフラ統合（例：グリーンインフラ）に関する研究

■ 主な研究成果：論文・著書

- 恵比壽美和・朝日ちさと「比較方式と収益方式に基づく住宅地の地価の差異に関する分析－東京都の地価公示の鑑定評価書を利用して－」日本土地環境学会誌 22 号掲載決定（2022）
- 松村俊英・朝日ちさと「公共施設利用に関する類型化と傾向の分析」地域学研究（第 52 巻 1 号掲載決定）（2022）
- 朝日ちさと・土屋依子・小谷将之「地域の持続可能性に資するインフラ・マネジメントの制度設計－ドイツの都市公社“Stadtwerke”（シュタットベルケ）を事例として－」PRI レビュー第 77・78 号(2020)
- 松村俊英・朝日ちさと「公共施設再編における施設の経済的評価法に関する考察」地域学研究 50 巻 1 号 p. 55-72（2020）

- Chisato Asahi ed. "Building Resilient Regions" New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives 35, Springer (2019/7) Springer Japan.
- 朝日ちさと・堀江典子編「生活者のための地域マネジメント入門」(2018/10) 昭和堂
- 限界費用価格形成原理の研究Ⅱ〔共著〕(2016/3) 勁草書房.
- 朝日ちさと・萩原清子「リスク下の意思決定特性を考慮した社会資本整備のリスクプレミアムの便益評価に関する考察:—水道水を事例として—」地域学研究 45(3), pp.271-291(2015/12)
- Chisato Asahi and Kiyoko Hagihara eds. "Coping with Regional Vulnerability-Preventing and Mitigating Damages from Environmental Disasters- "(2015/9) Springer Japan.
- 萩原清子・朝日ちさと・木村富美子・堀江典子「環境の意思決定支援の基礎理論」〔共著〕(2013/6)勁草書房.



■ 主な研究成果：口頭発表・寄稿等

- Noriko Horie, Kiyoko Hagihara, Fumiko Kimura, Chisato Asahi, "Contribution of Urban Facilities for Regional Sustainability through Museum-like Functions", the 13th World Congress of the RSAI, 25-28 May 2021, オンライン開催.
- Thuy Linh Nguyen; Chisato Asahi; Thi An Tran; Ngoc Hanh Le, "Generation of indicators to assess the flood vulnerability index at district scale of Hoi An city in the Central region of Vietnam", The International Conference on Geo Informatics for Spatial-Infrastructure Development in Earth & Allied Sciences (GIS-IDEAS), 2 August 2021. オンライン開催
- 朝日ちさと・土屋依子「地域の公共サービスを持続可能とする包括的供給スキームの制度設計に関する考察」日本地域学会第 58 回年次大会、2021 年 10 月 9-10 日、高知大学、オンライン開催
- 恵比壽美和・朝日ちさと「比較方式と収益方式に基づく地価の差異に関する分析－地価公示の鑑定評価書を利用して－」2021 年日本土地環境学会定期大会、2021 年 11 月 27 日、中部大学
- 北野茂夫・朝日ちさと「自然公園の利用についての便益推計に関する研究」第 18 回 (2021)環境情報科学ポスターセッション、2021 年度環境情報科学研究発表大会、2021 年 12 月 6- 12 日、オンライン開催

連絡先

asahi#tmu.ac.jp

(相談・見学等をご希望の場合にはメールにてご連絡ください。上記の#を@におきかえてください)